

8月度理事会議事録（2020年8月18日（火）開催）

1. 会長報告（7月14日（火）～8月17日（月）出席案件）

- ・7月20日（月）阿部恭子氏 個展 Forest of imagination 創造の森開会式 於：パーソナルコンサルトギャラリー
- ・7月23日（木）タイ国日本人会オンライン定期総会 於：Glow Fish
- ・7月25日（土）ロータリークラブ・スリウン年次総会

2. 一般報告

（1）7月度個人会員動向

入会者 49名 退会 141名 現会員数 5,888名（内、準会員 43名 会友会員 211名）
（前年同月 6,644名・前年同月比 88.6%）

（2）7月度賛助会員

〈入会4社〉

- ・ケーエムジューリサーチ株式会社（「ニコラボ」運営・メディア発行・イベント企画）
- ・アニバーサリー株式会社（「オレンジハウス」漫画喫茶・漫画本レンタル・お弁当宅配）
- ・Siam Kempinski Hotel Bangkok（ホテル業・レストラン業）
- ・株式会社トモノカイ（日本企業・オンライン家庭教師の紹介）

〈退会8社〉

- ・バンコクホテル・ロータス・スクンビット
- ・Siam Piwat Company Limited
- ・イシイアンドパートナーズ（タイランド）
- ・ラッキーテックス（タイランド）株式会社
- ・東芝家電製造タイ社
- ・オムロン 株式会社
- ・阪和泰國株式会社
- ・アルバックタイランド

現会員数 583社

（前年同月 572社・前年同月比 101.9%）

（3）7月度会館来訪者数

本館：65名（実数 55名）

別館：402名（実数 193名）

合計：467名（実数 248名）

（前年同月 2,394名（実数 1,023名）前年同月比 19.5%（24.2%））

（4）会員優待店

【新規加盟】

- ・Siam Kempinski Hotel Bangkok, Hanuman bar
- ・Siam Kempinski Hotel Bangkok, ALATi
- ・Siam Kempinski Hotel Bangkok, Ratunda

- ・DYM International Clinic 33 院
- ・DYM Health Check Up Clinic 49 院
- ・Sichuan Restuarant Silom (蜀香园是隆)

6 店舗加盟、現在 177 店舗

(5) 7 月度会計報告

- ・7 月度収入は、208 万バーツ、(前年同月 271 万バーツ 前年同月比 76.8%)
- ・7 月度支出は、229 万バーツ、(前年同月 202 万バーツ 前年同月比 113.4%)
- ・単月収支 -25 万バーツ (前年同月 69 万バーツ 差額 -90 万バーツ)

(6) 法人会館利用

・法人利用についても、会館利用を再開した。8 月～11 月と予約を頂いており、11 月には入試での利用の予約を頂いている。10 月に予定していた入試での利用については、オンライン入試となりキャンセルとなった。

(7) 寄付・寄贈報告

- ・本の寄贈

樋口博子様より、32 冊寄贈頂いた。

(8) その他報告 (事務局)

- ・8 月・9 月の主な会議日程とオンラインセミナーなどの行事日程を確認した。

3. タイ国日本人会後援名義・ロゴ使用申請 (事務局)

(1) 対象事業名：J-Talk: Diggin' Culture #09 「忍者学とは、なにか」

- ・開催日：2020 年 8 月 29 日 (土)
- ・主催：国際交流基金バンコク日本文化センター
- ・要請事項：日本人会後援名義・ロゴ使用

——> 異議なく、承認された。

(2) 対象事業名：「武道の精神」展

- ・開催日：2020 年 9 月 17 日 (木)～10 月 18 日 (日)・11 月 19 日 (木)～12 月 13 日 (日)
- ・主催：国際交流基金バンコク日本文化センター

要請事項：日本人会後援名義・ロゴ使用

——> 異議なく、承認された。

4. 準会員申請

- ・Ms. Julalak Sangsrichan
- ・Ms. Rudee Samranruen

2 名より準会員申請があり承認された。

5. チャリティーバザー開催について (藤田理事)

- ・2020 年度チャリティーバザーについて定期総会で下期延期の旨発表したが、検討の結果、中

止とした旨報告した。

6. 各部・各委員会報告及び提案等（発表順）

（1）チャリティー基金運営委員会（堀尾理事）

・チャリティーバザーは中止となったが、各施設への支援については、基金の繰越金から拠出し支援を継続して行う予定である。また、昨年度同様に、寄付先については公募し、委員会で審議のうえ決定していくこととする。

・2019年度支援先のシーカーアジア財団（138,360B 支援）より、パヤオで開催するワークショップの費用として寄付した一部 35,000B について、ワークショップを縮小し開催するため使用予定だった旅費の一部を、パヤオの学生寮の修繕に使用したい旨、申請があった。新型コロナウイルスの影響による特別措置ということで、条件付きで承認した。

・2019年度支援先のプレー盲学校（230,000B 支援）よりベッド及び寝具の買替が完了した旨の報告書を頂いた。お礼のDVDもあり再生するので、理事会出席の皆様にご覧頂きたい。

・2019年度支援先のLive Our Lives Group（92,800B 支援）より、8月1日（土）・2日（日）に実施したワークショップの報告書を頂いたので理事会に報告する。

（2）教育部（日高（丸紅）理事）

・2020年度第二回英検について、8月13日（木）より受付を開始した。締め切りは8月19日（水）まで。今年度から日本人会の事業として運営することとなったが、第一回目が新型コロナウイルス（COVID-19）の感染予防のため中止となったため、今回は2020年度初めての英検となる。各級90名の定員としており、2級・準2級はすでに定員を超えてキャンセル待ちとなっている。4・5級は10月3日（土）2級・準2級・3級には10月11日（日）一次試験、11月8日（日）二次試験となっている。

（3）婦人部（竹井理事）

・8月21日（金）本館にて、企画推進部と婦人部にて、「タイの市場と野菜たち」を開催する。本館でのリアル参加者とオンラインでも配信予定である。講師は、野菜ソムリエとして活躍する青澤直子氏。

（4）企画推進部（田中（伊藤忠）理事）

・リアルでのイベント開催が難しい中、オンラインイベントを7月より実施している。手探りの状況ではあるが、日本人会ならではのオンラインイベントを企画開催していきたい。

・7月13日（月）Besides Sports 共催でオンライン・トレーニングを開催した。参加者は13名だった。

・7月17日（金）Besides Sports 共催でオンライン・トレーニング第二弾を開催、スポーツリズム、参加者9名・ムエタイ、参加者4名であった。

・7月18日（土）GEOS 共催でオンライン・インター校セミナーを開催、参加者27名だった。

・7月24日（金）NOVA 共催でオンラインセミナー「コロナによる学力不足を乗り越える！」を開催、参加者は6名だった。

・7月25日（土）JTB 共催でオンラインセミナー第二弾「あなたの知らないタイランド・市宿泊するから見えてくる新たな旅の魅力 カンチャナブリー・アユタヤ編」を開催、参加者は40名だった。

・8月4日（火）小川堂守のオンライン講演会「人生に迷いをなくしたい～タイ僧侶として修業

する日本人僧侶から聞くタイ仏教の教え～」を開催。参加者は89名であった。

- ・8月6日（木）GEOS 共催オンラインセミナーの第二弾として、インター校合同説明会を開催した。Traill International School, St. Adrews International School Bangna, International School Bangkok の三校が参加。参加者は29名であった。

- ・8月14日（金）JICA との共催オンラインイベント「親子で参加！JICA オンライン出前講座～対タイ ODA の今までと、これから～」を開催した。講師は JICA 職員の水上貴裕氏、参加者は、30組48名だった。

- ・各理事には社内でも告知頂き感謝申し上げる。オンラインイベントのため遠方の方も参加が可能なことから、シンガポール日本人会やタイ国内の日本人会にも告知の協力をお願いしている。さらに、タイ政府指定の検疫隔離施設（Alternative State Quarantine（ASQ））に滞在中の日本人を対象に、ASQ 実施ホテルにも告知して頂くようお願いを始めた。

- ・これから開催される8月のオンラインイベントを紹介した。

（5）運動部（中村理事）

- ・先月の理事会でも報告したバンコク日本人学校の代替施設の件で、8月11日（火）カセサート大学の施設利用について事務局にて現地を視察、先方と打合せをしてきた。BTS 駅の近くでアクセスも良く、学生が使わない土日の利用ができるが、2時間5,000B～と料金も高めである。カセサート大学と引き続き交渉をしていくが、各企業の施設の貸し出しや情報提供をお願いしたい。

- ・昨年ソフトボール大会を実施した Ratwinit Bangkaeo School に、事務局にて8月21日（金）訪問して開催の可否について学校側と協議をする予定でいる。

（6）大使館代表（松前領事部長）

- ・学生グループや反政府グループによる政治集会が頻発しており、不測の事態に備え、政治現場周辺にはできる限り近づかないようにするなど、ご自身の身の安全を確保して頂きたい。大使館では引き続き情報提供に努めていくので十分注意して頂きたい。

（7）青少年部（日高（日高洋行）理事）

- ・8月4日（火）別館にてサークル部長会を開催した。

- ・バレーボールサークルが8月16日（日）より外部施設（B Pro）での活動を再開した。

- ・ブラスバンドサークルは楽器を使用した練習ができないため8月9日（日）にお楽しみ会を実施する予定。

- ・テニス・水泳・バスケットボールサークルは、一学期活動なし。

（8）広報部（事務局代理）

- ・7月のホームページアクセス状況は、訪問数 10,338 閲覧数 29,661 前年同月比、訪問数 109.0%、閲覧数 121.4%。前月比は、訪問数 120.1%、閲覧数 123.4%。タイからの訪問数は 62.6%、日本からは 32.1%。

- ・7月度LINEは10回配信、登録者数は、先月より80名増加し、4,182名（有効数 2,956名）となっている。

- ・LINE 配信した日にホームページの訪問数が伸びているが、逆にLINE 配信しないとホームページに訪問しない状況であり、直接ホームページに訪問する能動的な動きがでていない。引き続き積極的な情報発信が必要だと認識している。

・7月度Facebookは、81回配信、登録者数は、先月より80名増加し、1,665名となっている。パフォーマンスの高かった投稿は、7月2日(木)に配信した「JTB オンラインセミナー第二弾」、7月20日(月)に配信した「阿部恭子氏 個展 Forest of imagination 創造の森・オープニングレセプション」であった。7月より開始した「事務局のつぶやきシリーズ」は、23回投稿。職員の生活情報など身近な話題を掲載した。理事や関係者の皆様にも協力頂き感謝申し上げます。

・Facebookの投稿を質量とも上げLINE登録に誘導し、ホームページ訪問数を増やしていき、日本人会の認知度をあげ、会員数の増加につなげていく流れを作りたいと考えている。

・7月度インスタグラムは、7回配信、登録者数は、先月より44名増加し、633名となった。

(9) 事業部 (神原理事)

・9月12日(土)10時30分より敬老の日祝賀会を開催予定、対象者25名のうち19名参加して頂けることとなっている。

・9月21日(月)17時より、秋季法要を日本人納骨堂で開催。法要終了後の座談会は実施しない予定。当日は梨田大使もご臨席頂けることとなっている。

・7月より懇和会では毎週木曜日の定例会の際、ヨガの教室を開催している。

(10) 運動部・ゴルフ部 (神原理事)

・7月19日(日)第720回月例会をラムルッカカントリークラブにて開催した。Aクラス優勝は武田浩隆氏、Bクラス優勝は、山口創磨氏。

(11) 食堂運営委員会 (石井理事)

・食堂売上7月は、970,975B(前年対比77.5%)であった。タイ人顧客は2,892名、邦人顧客は773名、総顧客数3,665名、会員利用者延べ人数は196名、実数94であった。

(12) バンコク日本人学校 (学校理事長・藤田理事)

・8月15日(日)赴任予定だった教員70名、帯同家族29名、合計99名がタイ到着、政府指定の検疫隔離施設(Alternative State Quarantine (ASQ))に滞在中である。また、個別の事情で未入国の教員が8名いるが順次入国予定である。

・9月3日(木)始業式、8日(火)より通常登校開始となる。

(13) 定期総会実施に関して (事務局)

・7月23日(木)16時から17時、ビデオ会議システムを利用し、定期総会を開催した。日本人会本館の入居しているサートンタニビル2階のGlow Fishのスタジオを利用した。

・会場では梨田在タイ日本国特命全権大使(日本人会名誉顧問)にご挨拶頂いた。会場参加者20名、オンライン参加者31名、欠席委任状745名であった。オンライン開催としたことで、定期総会費用が圧縮できた。また、電子委任状を導入したことで業務の効率化が図られた。

(14) アジア域内事務局長会議について (事務局)

8月1日(土)に開催されたアジア域内事務局長会議の内容を理事会に報告した。当初はジャカルタでの開催予定だったが、今年度はビデオ会議システム使った会議となった。

(15) 事務局

- ・今後の会議予定を確認した。
- ・9月4日（金）・7日（月）ソングラーンの振替休日となったため事務局も休日とする。

9. 7月度理事会議事録承認

——〉異議なく承認された。

10. 理事会出席者（敬称略、順不同）

島田会長、田中（伊藤忠）、中村、藤田、田中（郵船）日時本各副会長、加藤、重松、猪股、太田、神原、桐生、日高（丸紅）、土田、竹井、日高（日高洋行）、堀尾、富永、福田、金子、石井各理事、朽木、大竹各監事、松前大使館代表、宮崎 JICA（国際協力機構）所長、吉岡国際交流基金代表、高橋各報道代表、小田原バンコクスリウオンロータリークラブ代表、事務局（熊本・村上・松田）